



能登やさしいこめづくり情報

高温対策・防除編

「高温」と「カメムシ」への対策を適切に行い

品質の向上を図る大切な時期です！！

令和8年6月
能登米振興協議会
能登米生産者協議会
能登南部営農推進協議会
J A は く い

【生育概況】 ※6月8日時点

- ・分けつ期に入り、急速に分けつが進み、**生育過剰**の傾向があります。
- ・中干しの適切な実施（前回情報）とともに、**いもち病の箱施薬を行っていない場合は必ず予防粒剤を散布**してください

昨年のはくい管内の主な格落ち理由

乳心白



カメムシ



対策

水管理と施肥管理による
1.登熟期の高温対策

除草対策と適期防除による
2.カメムシ対策

1.登熟期の高温対策

- ①**水管理** 出穂期は稲が**最も水を必要とする時期**です
常に**土から水分を供給**できるようにし、稲の活力を保ちましょう

ポイント： ○中干し後の基本は「**飽水管理**」（刈り取り5日前まで継続）



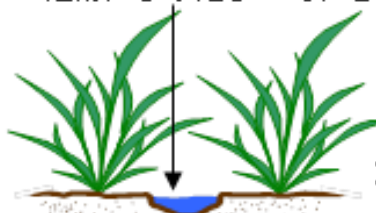
○高温時は可能な限り**夜間通水**

○**フェーン予想時は湛水**で稲を保護

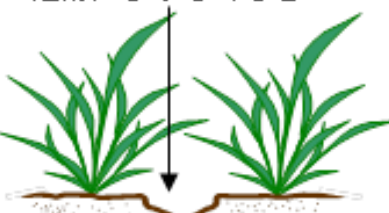
【飽水管理の実践】

- ・中干し終了後 **2～3日間隔**を目安に通水（できるだけ朝か夕方）
- ・圃場内を歩くと**足跡に水が溜まる**ような状態をキープ

足跡に水がたまっている



足跡に水がなくなる



2～3日

土はヨウカン状
歩くと水が染み出してくる

土が締めりはじめる

飽水状態

OK

要通水



溝を切り直すなら
今のタイミング

（裏面へ続く）

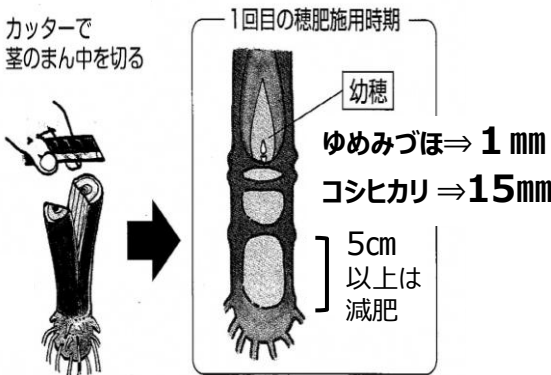
②**施肥管理** 分施肥体系は**1回目の穂肥時期は遅らせず**、生育過剰の際は施肥量で調整します
2回目の穂肥は稲体の消耗を防ぐため必ず実施しましょう（省かない）

【分施肥の体系】

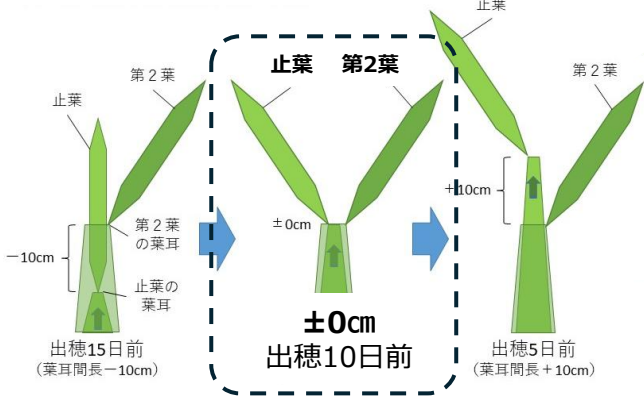
品種	回数	実施時期の目安※		肥料名	基準施用量
		幼穂長・葉耳間長	平年		
ゆめみづほ	1回目	幼穂長1mm 葉色4.0未満	7月3日頃	BB追肥 550号	15kg/10a
	2回目	葉耳間長±0 cm	7月8日頃		20kg/10a
コシヒカリ	1回目	幼穂長15mm 葉色4.0未満	7月11日頃	BB能登 みのり	10～15kg/10a
	2回目	葉耳間長±0 cm	7月17日頃		10～15kg/10a

※具体的な穂肥時期については、別途、SNS(LINE、公式HP) および事業所への掲示等にてお知らせします。

＜幼穂長の見方＞



＜葉耳間長の見方＞



2.カメムシ対策

- ポイント： ○**畦畔除草は出穂前まで**（7月10日頃を目標に終わらせる！）
○本田除草剤の散布は「**収穫前日数**」に**注意！！**
○剤型に応じて**出穂時期3回**の基幹防除の徹底を！！



- ・7月中旬以降（出穂後）に畦畔除草を行うと、**カメムシを水田内に追い込む**ことになります。
- ・水田内の雑草の取りこぼしはカメムシを誘引します。除草剤散布の際には「**収穫前日数**」を必ず確認しましょう。（例：**クリンチャー⇒収穫30日前まで**、**アトトリ⇒収穫45日前まで**）

【剤型ごとの防除体系】

剤型	1回目（～出穂始め）	2回目（穂揃機）	3回目（傾穂期）
粉剤	ビーモトレモンセレン粉剤DL（3成分）	キラップ粉剤DL（1成分） またはエクシード粉剤DL（1成分）	キラップ粉剤DL（1成分） またはエクシード粉剤DL（1成分）
粒剤	ワイドパンチ豆つぶ（2成分）	キラップ粒剤（1成分）	－
液剤	ビームエイトレボンゾル（2成分） ＋ バリダシ液剤 5（0成分）	キラップフロアブル（1成分） またはエクシードフロアブル（1成分）	キラップフロアブル（1成分） またはエクシードフロアブル（1成分）

～農作業中の熱中症に気を付けましょう～

暑さに慣れていないと熱中症になる危険性が高まります。
こまめな水分補給・休憩や通気性の良い衣服の着用など、対策を行い日中の暑さに備えましょう！



※この他詳細は「令和 8 はくい年営農ごよみ」（P34～37）で確認いただけます。